

進路だより

令和3年1月8日発行
進路・卒後支援部

キャリア教育

本校では将来の豊かな生活を目指してキャリア教育に取り組んでいます。学校教育目標を踏まえ、キャリア教育の全体目標を次のように設定しています。

自らの病気や障害と向き合い、病気に対する自己管理や心身の安定に配慮しながら、社会参加と自立、豊かな生活の実現に向けて、主体的に生きる力を育てる。

また、目標の達成に向けては「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの力の向上を目指して、各学部・学級の授業形態や児童生徒の実態に応じて、さまざまな方法で実践しています。

今回は、中学部・やしお学級におけるキャリア教育の取組を紹介します。

○各学部のキャリア教育実践報告

《中学部》

今年度、中学部ではキャリア教育の目標を、『社会生活に対する関心を高め、集団や他者との関係の中で、自分らしさを表現する力を育てる』としました。その中で、重点目標として以下の2点を掲げ、実践を行いました。

【重点目標】

- 自己理解・自己管理能力を高める。(通常課程)
- 人間関係を広げる。(重複課程)

○自己理解・自己管理能力を高める

中学部1～2年2名は、それぞれが自己の体調を把握し、健康管理に努めることを目標として取り組んできました。自己の体調の把握については、図1のプリントや図2のシートを用いて、実際に記入したり、表示したりすることで、目に見える形で分かるようにしました。朝の会、帰りの会にて教師が体調を聞き、自分でシートに表示するようにしました。また、「朝は調子がよかったけれど、帰りには少し疲れました。」と言いながら表示する様子も見られました。自分自身の体調を意識し、それを目に見える形で伝えることができるようになりました。

日付 朝 名前

<健康観察>
質問に答えましょう。

①昨日は何時に寝ましたか。 時

②今日は何時に起きましたか。 時

③のどが痛いですか。 痛い 痛くない

④眠気がありますか。 ある ない

⑤体調はどうですか。
1 とても悪い 2 悪い 3 普通 4 元気 5 とても元気

⑥疲れがありますか。
1 疲れている 2 少し疲れている 3 普通 4 疲れはない

図1

体の調子

今日の気持ち

図2

○人間関係を広げる

中学部3年1名は、多くの教師や友達と関わりをもつことで、人間関係を広げることを目標に取り組みを行いました。教師との関わりでは、新しい教師の名前を覚えたり、挨拶をしたりすることができました。友達との関わりでは、体育（写真1）や美術、総合（写真2）の授業や行事の中で、一緒に活動する場面を設定することで、友達に視線を向けたり言葉を掛けたりすることができました。昼休みには、すごろくやゲーム（写真3）を通して関わり、楽しく過ごすことができました。それぞれの課程の生徒にとっても、友達と関わりを多くもつことで、友達を意識して自分から言葉を掛けたり、車椅子を押したりする様子（写真4）が見られるようになりました。これからも少人数ではありますが、関わる場面を多く設定し、やりとりを重ねることで、人間関係を広げていけると思われます。



写真1



写真2



写真3



写真4

《やさお学級》

やさお学級では、キャリア教育全体計画から重点目標を設定しました。

【重点目標】

小学部：自他への関心を高める
中学部：人間関係を広げる
高等部：余暇活動を楽しむ

小学部・中学部に関しては、昨年度の目標を継続しました。高等部に関しては、卒業後を見据えた目標に変更し設定しました。

【活動の様子】

各学部において、児童生徒のさまざまな実態に応じ、教師が工夫を凝らした教材を作製しています。日々の活動の中で、キャリア教育に繋がる活動の一部をご紹介します。

○自他への関心を高める（小学部）

写真1は、マウスの左クリックをわずかな力でも操作できるように改造したものです。パソコンの画面に学校行事や集団学習等に参加する自分や友達の写真を表示することで、活動の振り返りを行うことができました。また、自分や友達の写真を自身の操作で見られることで、より自他への関心が高められる活動に繋がりました。写真をじっと見たり、写真に向かって語りかけたりする様子が見られました。

○人間関係を広げる（中学部）

人間関係が広げられるように、多くの友達と関わる機会が



写真1

もてるさまざまな活動に取り組んでいます。

写真2は『ボッチャ』（目標球にボールを近づけるスポーツ）活動の様子です。さまざまな実態の児童生徒が参加できる活動で、多くの友達と交流を図ることができました。多くの友達と一緒に活動することで、人間関係の幅が広がり、友達と一緒に活動する楽しさも学ぶことができました。



写真2

○余暇活動を楽しむ（高等部）

高等部では卒業後の進路を見据え、社会参加と自立を促しているように、余暇活動が楽しめる活動に取り組んでいます。

写真3は、友達と『的当て』をしている様子です。自立活動の授業や授業の合間の時間を利用し活動しています。的には鈴が付いており、ボールを投げて的を抜くと鈴が鳴ること、的を抜いたことが聴覚でも把握でき、認知に働きかけるとともに、活動を盛り上げてくれる効果があります。実際に、生徒が的を当てると、他の生徒が拍手をして称賛してくれ、生徒が笑顔になる場面が見られました。生徒だけでなく教師も参加することで、一緒になって楽しみながら活動することができています。



写真3

また、的のイラストを自由に変えられるようになっており、季節に合わせたり、好きなキャラクターに変えたりすることで、バリエーションに富み、より楽しみながら活動に取り組むことができます。

※次回は、小学部・高等部・分教室の取り組みについて掲載いたします。

<今後の進路に関する行事>

日 時	行 事 名
1月25日（月）～1月29日（金）	産業現場等における実習（高）
3月 8日（月）	高等部入学者選抜